

製品名: Lyl-1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab13507**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC, ICC/IF, ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:100-1:300, ICC/IF 1:50-1:200, ELISA 1:5000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	LYL1
別名	LYL1; BHLHA18; Protein lyl-1; Class A basic helix-loop-helix protein 18; bHLHa18; Lymphoblastic leukemia-derived sequence 1
遺伝子 ID	4066.0
SwissProt ID	P12980
免疫原	抗血清はヒト Lyl-1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 151-200

背景

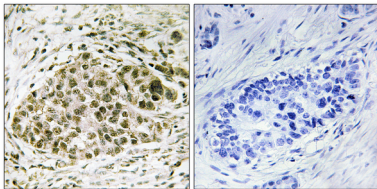
この遺伝子は、塩基性ヘリックス・ループ・ヘリックス転写因子です。コードされているタンパク質は、血管の成熟と造血に関与し

ている可能性があります。この遺伝子座と 7 番染色体上の T 細胞受容体 β 遺伝子座 (GeneID 6957) との間の転座は、急性リンパ芽球性白血病と関連付けられています。[RefSeq 提供、2010 年 9 月],疾患: LYL1 遺伝子に関連する染色体異常は、T 細胞急性リンパ芽球性白血病 (T-ALL) の一形態の原因となる可能性があります。TCRB との転座は t(7;19)(q35;p13)です。類似性: 塩基性ヘリックス・ループ・ヘリックス (bHLH) ドメインを 1 つ含みます。サブユニット: 効率的な DNA 結合には、別の bHLH タンパク質との二量体形成が必要です。、

研究分野

-

画像データ



Lyl-1 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肺癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。